

## 谷川政人後援会

弘前市高田2丁目1-5 (旧アメリカ屋)

TEL:0172-26-7630

FAX0172-26-7632

## 谷川政人HP



令和8年3月8日更新

今後もこの政策集は市民との対話集会等を経て、ブラッシュアップしてまいります

## PROFILE

1969年 11月21日生まれ O型  
1988年 東奥義塾高等学校卒業  
1992年 道都大学社会福祉学部  
社会福祉学科 卒業  
建設資材商社の民間企業勤務  
1998年 元衆議院議員故木村太郎秘書  
2003年 弘前市議会議員 初当選  
2007年 弘前市議会議員 2期目当選  
2011年 弘前市議会議員 3期目当選  
2015年 青森県議会議員 初当選  
2019年 青森県議会議員 2期目当選  
2023年 青森県議会議員 3期目当選

公益社団法人日本空手協会青森県本部長  
弘前市水泳協会会長 他

家族：父・妻・長女・長男・二女・犬1匹

討議資料

# 政策集 2026



未来への  
力強い一歩

たにかわ まさと

谷川政人



# 未来への力強い一歩

～オール弘前で新時代の扉を開く～



## 弘前の目指す姿（3本柱）

谷川が掲げる、弘前の未来に向けた3つの基本方針。

### ① 誰もが生きがいを持てる未来



～子どもが健やかに育ち、若者が挑戦でき、家族が安心して暮らせる弘前をつくります～

### ② 弘前市民の暮らしと安心を守る



～雪、医療、水道・道路などのインフラ。日常の安心が止まれば、暮らしは成り立ちません～

### ③ AI・DXによる変革



～人手不足の時代でも、行政も地域も回り続ける仕組みが必要です。AI・DX活用で市民ニーズに即した政策を実行～

## 新時代の扉を開く4つの鍵

～市政運営の基本姿勢～



### 結集

～市民、企業、行政が一体となり、地域全体の力を結集します～



### 挑戦

～前例にとらわれず、新しい可能性に果敢に挑戦します～



### 迅速

～意思決定と行動をスピードアップし、課題を迅速に解決します～



### 対話

～市民の声に耳を傾け、対話を重ねて市政を推進します～

## 弘前の目指す姿（3本柱）を実現する5つの戦略



弘前の  
活力を創出



教育と子育て  
環境の充実



生活の基盤を  
アップデート



安心のネットワ  
ークを構築



対話と連携で  
市政を再起動

# 1



## 弘前の「活力」を創出

### 挑戦し、稼げるまちへ



## 都市再生と投資促進

- 01 | 中心市街地のまちづくり再起動（旧大成小跡地・旧市立病院、土地区画整理等）
- 02 | 投資しやすい環境づくりによる商業都市ひろさきの復興
- 03 | AI・DX関連産業用地の戦略的整備～地域牽引企業の成長と新たな投資を誘致～
- 04 | 津軽の食と文化を活かした観光の推進



## 農業の再生と構造転換

- 01 | 水源確保と圃場再編の一体実施による農業基盤再生プロジェクト
- 02 | 国県と連携した農業の担い手養成育成による労働力不足解消
- 03 | 域内資源（農業残さ、下水等）の活用による肥料等の地産地消
- 04 | 鳥獣被害対策の強化



# 2

教育と子育て環境の充実

次世代の笑顔を守るまちへ



## 子育て負担の軽減と教育費支援

- 01 | 保育料の無償化（県施策との連動）
- 02 | 保育園等の副食費、全小中学生（私立・国立・県立の対象拡充）への給食費支援
- 03 | 学びのバトンプロジェクト（スキーや学用品のリユースや公的支援）



## 子どもの成長環境の整備

- 01 | 雪を克服「全天候型子ども運動パーク」の整備
- 02 | 部活動地域展開の円滑実施（場所・人材・交通等の総合調整）
- 03 | 教職員の働き方改革を推進



## 若者定着と地域の未来づくり

- 01 | シビックプライドの醸成と若者回帰プロジェクトによる人口減少への挑戦
- 02 | 「(仮称) スポーツコミッション つがる」設立（スポーツを“産業”として実装）



# 3

生活の基盤をアップデート

快適で誇れるまちへ



## 都市構造と公共交通の再設計

- 01 | 停滞した都市計画を再始動、都市マスタープラン等の策定（立地適正化計画・地域公共交通計画）
- 02 | ひろさき交通協創会議でのリ・デザイン（大鰐線廃線を転機に）



## エネルギーと地域循環の強化

- 01 | バイオガス・雪氷熱発電によるエネルギーの地産地消とごみの減量化
- 02 | 「地域新電力×ペロブスカイト太陽電池」による経済循環モデルへの挑戦



## 地域機能と暮らしの拠点づくり

- 01 | 県立郷土館の誘致とまちなかの市有財産のあり方検討
- 02 | 移動販売や配送ネットワークの構築による「不自由なく買い物できるまち」
- 03 | 小規模多機能自治や農村RMO（相馬地区等）によるコミュニティづくり
- 04 | 空き家活用等による地域多機能拠点づくり
- 05 | 「地域共創コンシェルジュ」の派遣（町会運営を強力サポート）

# 4

## 安心のネットワークを構築

誰もが生きがいを持って暮らせるまちへ



### 健康寿命の延伸と医療体制の強化

- 01 | 健康寿命延伸（弘前大学COI-NEXTとの連携強化等）
- 02 | 地域医療体制の維持・確保・充実
- 03 | 健康保険料の負担増を回避（子ども・子育て支援納付金等の軽減）
- 04 | 属性や世代を問わない包括的な支援（重層的支援体制の整備・居場所づくり）
- 05 | 障がい者福祉（生活や就労）の充実



### 高齢者支援と地域防災の強化

- 01 | 高齢世帯等へのDXによる屋根雪除雪等の実証
- 02 | 地域防災力の強化（防災組織空白地帯の解消・消防団の運営体制の強化等）
- 03 | 避難所環境の整備促進（冷暖房プライバシー配慮・ペット対応など）



# 5

## 対話と連携で市政を再起動

津軽をリードするまちへ



### 戦略的な市政経営と広域連携

- 01 | 新総合計画「弘前X-VISION（クロス・ビジョン）」による地域経営
- 02 | 公共施設の「津軽シェアリング」構想（広域運用・DX一括予約システム）
- 03 | 市民とつくる歳入・歳出改革プログラム（AI可視化等の活用）



### 対話と危機管理の強化

- 01 | 市民対話プラットフォームの構築とデータに基づく市政経営（EBPM実装）
- 02 | 市長直轄の危機管理体制の構築（即応体制と情報発信の強化）

# いま、動かす。 弘前を立て直す。

弘前はいま、  
市民生活に直結する課題を抱えています。

雪で生活が止まる。  
物価高で暮らしが苦しくなる。  
中心市街地の活力が失われる。

これらは将来の話ではありません。  
いま解決しなければならない課題です。

対話だけで終わらせません。  
計画だけで終わらせません。  
実行します。

除排雪。物価高騰。まちの停滞。  
待ったなしの課題に、  
具体策で応えます。



## 除排雪対策の抜本強化



### 除排雪対策

- 01 | 「(仮) 除排雪対策推進市民会議」の新設 (除雪品質・契約、情報共有等を推進)
- 02 | 市役所内の専門部署と司令塔の新設 (分野横断的に夏場から準備検討)
- 03 | 除排雪体制の充実・強化 (予算増、従事者・重機等の確保、国県との連携強化)
- 04 | AIカメラ等による除排雪DXの推進 (状況把握、効率実施、発信)



# 緊急 2



## 物価高騰から暮らしを守る



### 物価高騰対策

- 01 | 国県の交付金の獲得。全世帯に恩恵が及ぶ交付金の実施
- 02 | 冬季の燃料支援（国・県との連携）
- 03 | 国民健康保険料の負担増を回避（子ども・子育て支援納付金等の軽減）



### まちの賑わい復活

- 01 | 中心市街地のまちづくり再起動（旧大成小跡地・旧市立病院、土地区画整理等）
- 02 | 投資しやすい環境づくりによる商業都市ひろさきの復興
- 03 | AI・DX関連産業用地の戦略的整備  
～地域牽引企業の成長と新たな投資を誘致～
- 04 | 停滞した都市計画を再始動、新まちづくりビジョン策定（大鰐線廃線を転機に）
- 05 | 県立郷土館の誘致とまちなかの市有財産のあり方検討

# 緊急 3



## まちの賑わいを取り戻す